

# 第3章

## 快適な住まいとは？

- Part 1 次世代省エネルギー基準
- Part 2 断熱住宅の仕組み
- Part 3 断熱住宅の造り方
- Part 4 開口部の断熱



### コラム 木造簡易耐震診断

地震に強い、しっかりした造りの住まいを望むなら、まずはプロに相談するのが一番。ただ、自分でも間取りを考えたいと思っている人や、現在住んでいる家の耐震性を調べたいとき、そろそろフォームを考えているけど、耐震性はどうかしら、と不安な場合には、図のような簡易耐震診断でチェックするのも手だ。

簡易耐震診断表

		地盤	良い・普通	やや悪い	非常に悪い
A	基礎	鉄筋コンクリート造布基礎	1.0	0.8	0.7
		無筋コンクリート造布基礎	1.0	0.7	0.5
		ひび割れのあるコンクリート造布基礎	0.7	0.5	0.3
		その他の基礎（玉石・石積・ブロック積）	0.6	0.3	0.1
B	建物の形	整形		1.0	
		平面的に不整形		0.9	
		立体的に不整形		0.8	
C	壁の配置	釣り合いのよい配置		1.0	
		外壁の一面に壁が1/5未満		0.9	
		外壁の一面に壁がない（全開口）		0.7	
D	筋かい	筋かいあり		1.5	
		筋かいなし		1.0	
E	壁の割合	階数	平屋建て		二階建て
		多い	1.5		1.2
		やや多い	1.5		1.0
		普通	1.2		0.7
		やや少ない	1.0		0.5
少ない	0.7		0.3		
F	老朽度	健全		1.0	
		老朽化している		0.9	
		腐ったりシロアリに食われている		0.8	

日本建築士事務所協会（<http://www.njr.or.jp/top.html>）のホームページでも上の表と同じ耐震診断ができる。該当の項目をクリックしていくと、結果が出る仕組み。「詳細情報」をクリックすると、問いに答えるのに必要な説明を引き出すこともできる。

A × B × C × D × E × F 総合評価

- 診断結果判定表 -

「計算」の結果が表の左側にチェックされます。

総合評点	判定	今後の対策
1.5以上	安全だと思います	-
1.0以上～1.5未満	一応安全だと思います	専門家による診断を受ければ、なお安全です。
0.7以上～1.0未満	やや危険です	専門家による診断を受けて下さい。
0.7未満	倒壊又は大破壊の危険があります	ぜひ専門家と補強について相談して下さい。

耐震診断のご相談は、お近くの建築士事務所協会にお問い合わせ下さい。